

## プログラム・マネージャー（PM）の研究開発プログラムの 進捗状況および見直しについて

平成 28 年 3 月 24 日

革新的研究開発推進プログラム担当室

### 1. 集中レビュー会の実施

ImPACT では基金により運営されるメリットを十分に生かし、年度をまたいだ研究開発活動の円滑な推進を図るため、研究開発機関との委託研究契約は 2 カ年の契約を基本としている（更新は毎年度実施）。

平成 26 年に採用された 12 名のプログラム・マネージャー（PM）は、研究開発プログラムの承認後、1 年以上が経過。各研究開発機関への平成 28 年度の委託研究契約締結に先立ち、各プログラムの進捗を踏まえ、プログラムの見直しの必要性を検討すべきタイミングにある。

このため、集中レビュー会を開催し、平成 26 年採用の 12 名の PM を対象にプログラムの進捗をヒアリングした後、研究費総額を含む研究開発プログラムの見直しの必要性を検討した。

#### （開催状況）

開催日：平成 27 年 11 月 30 日（月）、12 月 18 日（金）、平成 28 年  
1 月 20 日（水）、2 月 9 日（火）

出席者：有識者議員

外部有識者（ImPACT アドバイザー：PM のマネジメントや出口戦略等の観点から、有識者議員の判断の参考となるコメント・アドバイスを実施）

PM からの報告内容：プログラムの実施状況及び自己評価。プログラムの見直し及び研究費総額の変更を希望する場合は、その必要性についても説明。

### 2. 12 名の PM の研究開発プログラムの見直し方針案について

集中レビュー会でのヒアリングを踏まえ、有識者議員と検討を行い以下の見直し方針案を有識者会議（2 月 25 日）に報告し、推進会議に諮ることとされた。

- (1) 4名のPMについて研究費総額を見直し(資料1-2)
- (2) 上記4名のPM及び、研究費総額の見直しを行わない8名のPMについて、集中レビュー会におけるPMからの報告内容、有識者議員からの指摘事項等を踏まえ、適宜研究開発プログラムの全体計画を見直し(資料1-3)
- (3) 全体計画の見直しに伴い、研究開発機関の追加選定及び、研究資金の配分を変更(資料1-4)
- (4) 研究費増額を計画している伊藤PM、佐野PM及び佐橋PMから、推進会議において報告(資料1-5~1-7)

以 上